



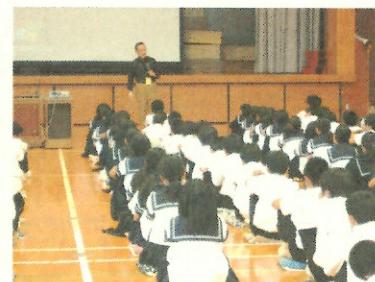
山梨ブランチ 今年の漢字 「命」

2015年、新しい年が始まった。国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ブランチでは、差別をなくし、明るく住み良い社会の構築のため、今年も積極的に活動して参りますので、よろしくお願いします。

昨年は、世界各地ではヘイトスピーチ、ナイジェリアにおいて200人以上の女子中学生の集団誘拐、日本国内においても、漫画「美味しんぼ」による風評被害、インターネットの投稿サイトで「アイヌ民族なんて、今はもういない」と書き込むなど、まだまだ差別や偏見がある。

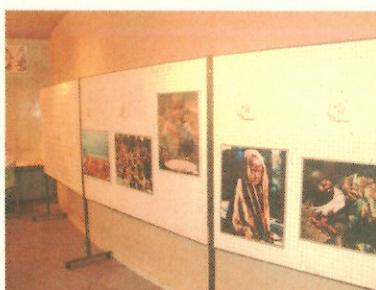
この様な現状を考えてみても、同和問題や外国人などに対する差別や偏見、女性、子ども、高齢者、障害者など社会的に弱い立場にある人への虐待や、セクシャルハラスメント、いじめなど様々な人権問題が依然として存在している。いまだに、物質的な豊かさの追求に重きを置き、心の豊かさが大切にされない風潮、或いは、他人への思いやりの心が希薄で、自己の権利のみを主張する傾向が見受けられ、このような状況が、様々な人権侵害を発生させる大きな要因の一つとなっている。

山梨ブランチとしては、このような問題を解決していくために、同和問題は当然であるが、各種の人権問題の啓発活動を展開し、より多くの方に考えてもらう機会を創設している。昨年は、相談窓口の開設のほか、小さい頃から人権感覚を身につけてもらうために、小中学生を対象とした人権移動教室を甲府市・甲斐市において開催した。その中で、杉藤会長は「他人を大切にする考え方になりきること。人を大切にする人に親切にする 人にやさしくする。この言葉が相手に伝わらなければ意味がない。それには伝えるための行動を起こすことが必要だ。」と教えている。



昨年の人権移動教室

また、行政と協働で県民を対象にした講演会や人権に関するパネル展を甲府市・甲斐市の公民館・図書館等で開催した。そこで多くの意見を聞くなかで、やはりまだまだ身近においても差別などがあることを感じる。このような活動を続けていくことで、一人ひとりの心に訴え、すべての人々が個人として尊重され、平和で豊かな社会の実現のため、積極的に人権施策の推進に取組んでいき活動を続けていくことで、幹を太らせ、枝葉を茂らせるような事業展開を今後もおこなっていく。



昨年のパネル展

山梨ブランチでは、パネル展、講演会等、人権の大切さを理解していくたく事業を開催していくので、今後とも一層のご支援とご協力をお願いします。

国連 NGO 横浜国際人権センター・山梨ブランチ

代表 横山 隆史（全日本同和会山梨県連合会会長）

〒400-0831 甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1階 TEL 055-243-8563